

新聞の切り抜き記事から



研究員 鶴岡 美宏

当センターの新聞記事切り抜きファイルから、主なニュースを抜粋して紹介します。

□第13分冊 (2012年8月26日～12月4日)

「歳入歳出、過去最大に 県11年度決算」

千葉県は、2011年度の一般会計決算見込みを発表した。東日本大震災からの復旧復興に伴う関連経費の大幅な増額で、歳入、歳出とも過去最大に膨らんだ。(千葉日報8/26)

「液状化予測図作り直し 自治体、批判受け急ぐ」

東日本大震災を受けて、自治体による液状化予測の見直しが相次いでいる。従来の想定と違った場所で被害が頻発し、批判が相次いだため、住宅の購入を予定する人たちからは、新たな予測を反映した「液状化マップ」へのニーズが高まっている。(朝日8/26)

「財政指数、依然最悪 千葉市決算 全国の指定市で」

千葉市は8月28日、2011年度の決算を発表した。熊谷市長のもとでまとめた財政健全化プランに基づき編成・運営した2年目の予算で、財政状態を示す指数は改善したが、依然として全国の指定市の中で最悪の状態にある。(朝日8/29)

「起業・中小支援を加速 自治体、経済環境悪化で」

千葉県内の市が中小企業や起業の支援で新しい取り組みを始めた。

市川市などは東京都葛飾区と連携して10月に県境をまたいだ広域の中小製造業の展示会を初めて開く。

千葉市は市運営では3つ目となるインキュベーション(企業ふ化)施設を、今年度中に開設する。(日経8/31)

「松戸市立病院建て替え問題 千駄堀に移転新築へ」

松戸市立病院の建て替え問題で、本郷谷市長は11日、同市千駄堀に移転新築するための関連予算案を市議会に提案した。2010年6月の同市長選で掲げた現地建て替え案を撤回する計画決定で、本郷谷市長は同日の議会本会議でこれまでの検討経過を説明し、謝罪した。(千葉日報9/12)

「市川市 1%支援、対象明確化『政治上の主義推進』を除外」

市川市議会は14日、市民団体に個人市民税の1%を交付する「1%支援制度」の支援対策の定義を明確化する条例改正案を可決した。同制度をめぐる支援対象を争点に、裁判にまで発展したケースもあったため、市は条例改正を進めていた。(千葉日報9/15)

「歳入・歳出とも過去最高 54市町村決算見込み」

千葉県は、県内54市町村の2011年度会計決算見込みをまとめた。歳入は前年度比2.9%増の2兆593億6300万円、歳出は同1.9%増の1兆9645億8500万円だった。(読売9/26)

<県議会代表質問 答弁要旨>

「防災基本条例 来年秋に制定へ」

9月26日に開始した千葉県議会の代表質問で自民党・佐野彰議員は、地域防災力向上に向けた重要施策として位置づけられている防災基本条例の制定を取り上げた。

「重要物品把握で新システム開発へ」

竹内圭司議員(民主党)は、千葉県が500万円

以上で取得した高額機器など重要物品の管理についての質問を行なった。(千葉日報9/27)

<県議会代表質問 答弁要旨>

「教師に校内暴力348件 補償制度の周知徹底」

石川信一議員(公明党)は、教育現場での校内暴力の実態や、教師が負傷した際の補償制度の問題を取り上げた。

「県立高校在り方検討 4地域協議会を設置」

岡田幸子議員(共産党)は、県立高校の統廃合に関する質問を行なった。(千葉日報9/28)

<県議会代表質問・一般質問 答弁要旨>

「低入札で賃下げ懸念 公契約条例制定要望」

小宮清子議員(社民党)は千葉県の入札制度について取り上げ、契約企業の賃金が下がることを懸念し、公共工事で働く労働者の賃金条件を定める「公契約条例」を制定する意向があるか質問した。

「県職員の退職手当 ピーク15年度650億円」

松戸隆政議員(みんなの党)は千葉県職員の定年退職の状況について尋ねた。

「スイカ果実の細菌病 県内で初めて確認」

伊藤勲議員(自民党)は、スイカやメロンなどウリ科の野菜に甚大な被害をもたらす「スイカ果実汚斑病」の千葉県内発生状況について質問した。

「農地基盤整備事業の進捗率は85.6%に」

浜田穂積議員(自民党)は、農業農村整備事業の進捗状況を質問。(千葉日報9/29)

「富津市長に佐久間氏」

富津市長選が9月30日、投開票され、現職の佐久間清治氏(66)が、新人で元衆院議員秘書の地引直輝氏(32)を破り、3選を果たした。

投票率は57.01%で過去最低だった。(朝日10/1)

<県議会一般質問 答弁要旨>

「コンビニ収納40%に 自動車税、納付率も増」

9月千葉県議会は10月1日も一般質問が行なわれ、自民党の山中操議員は本年度当初予算で県税の12%を占める自動車税を取り上げ、コンビニ店での収納状況を質問しクレジットカード収納の導入を求めた。また、同議員の国民健康保険に関する質問に対して千葉県は、2010年度分の国民健康保険料・保険税の県内平均収納率は85.97%で、全国ワースト2だったことを明らかにした。

「女性4%減止まり がん死亡率に開き」

横堀喜一郎議員(民主党)は2008年度から始まり、本年度が最終年度となる千葉県がん対策推進計画の成果と課題について質問。

「県内の森林間伐達成率74%に」

亀田郁夫議員(自民党)は、二酸化炭素を吸収する働きもある森林の整備に向け密集化する立木を間引く「間伐」の県内達成状況を聞いた。

「中韓への修学旅行 県内5高校が訪問」

西尾憲一議員(無所属の会)は、竹島や尖閣問題で日韓、日中関係が悪化する中、県立学校の海外修学旅行の状況を尋ねた。

「農地の放射能対策 パンプ作成配布へ」

中沢裕隆議員(自民党)は、福島第一原発事故による農地の放射能汚染と除染の必要性について尋ねた。(千葉日報10/2)

<県議会一般質問 答弁要旨>

「がん情報共有化へ 4都県で意見交換」

木村哲也議員(自民党)は、がん患者の情報や治療効果などを収集、分析するがん登録制度について取り上げた。

「県農林研究センター 年内に重点課題整理」

鶴岡宏祥議員(自民党)は千葉県農林業の発展に向け、県農林総合研究センターの取り組みについて質問した。

「銚子など復興へ 112社に22億円支援」

信田光保護議員（自民党）は、東日本大震災以降、厳しい状況にある銚子、九十九里地域への経済支援について尋ねた。

「重度障害者医療費 現物化の開始検討」

今井勝議員（自民党）は、重度心身障害者児医療費給付事業の現物給付化の見通しについて尋ねた。

「財産処分委員会 7物件を売却」

山本義一議員（自民党）は、未利用県有地を市町村などに譲渡、売却する場合に利用目的を検討する「財産処分委員会」での処分状況を聞いた。（千葉日報10/3）

＜県議会一般質問 答弁要旨＞

「館山の工場閉鎖問題 有効な雇用対策検討」

一般質問最終日の10月3日、自民党の木下敬二議員は館山市で半導体工場の閉鎖が予定されている問題を取り上げ、安房地域の雇用対策を質問した。

「野田の医師会立学校 准看護師の募集停止」

民主党の磯部裕和議員は、野田市医師会立野田准看護高等専修学校が来年度から学生の募集をやめることを取り上げ、准看護師養成の考え方を尋ねた。

「個人除く県税の確定 延滞金7億3千万円」

当千葉県地方自治研究センター理事の網中肇議員（民主党）は、昨年度中に確定した県税の延滞金額を尋ねた。なお同議員は、業者が自宅を訪問して貴金属を強引に買い取る「押し買い」についての質問も行い、県は昨年度の被害件数が急増し163件に上ったことを明らかにした。

「東金九十九里道路を津波の緊急避難場に」

阿井伸也議員（自民党）は、津波発生時の緊急避難場として東金九十九里道路の利用を提案。

「拠点都市の経済効果 道路網で各地波及へ」

宇野裕議員（自民党）は、千葉県内の道路網を生かした県の将来像について質問した。（千葉日報10/4）

「県私学教育振興財団評価損10億円投資信託で」

千葉県の外郭団体が大量のリスク資産を運用している問題で、県私学教育振興財団が株式投資信託で10億円超の評価損を抱えていることが10月3日、網中肇県議の調査要請により県が明らかにしたことがわかった。危うい資産運用の実態が改めて浮かんた。（朝日10/4）

「千葉、成田、利根川の地名 中国で商標登録」

「千葉」「成田」など県内14市町村の地名が、中国で商標登録されていることがわかった。特定の商業分野に限られるが、現地での商品名や社名に自由に使えなくなる恐れがある。10月3日の県議会一般質問で網中肇県議（民主党）が調査結果を明らかにした。（朝日10/4）

「市職員給与据え置き 4年ぶり、市人事委が報告」

千葉市人事委員会は10月5日、市職員の月額給与について、改定を見送るとの報告を熊谷市長と小川智之市議会議長に提出した。（千葉日報10/6）

「大都市制度アンケート」

大都市制度をめぐる議論が活発になってきた。大阪府・市が「大都市構想」の実現を狙う一方で、12政令指定都市が府県から事実上の「独立」を目指していることが日本経済新聞の調査でわかった。（日経10/8）

「公務員協約締結権 地方は労使が対立」

賃金や労働条件を労使が交渉して約束する「労働協約」をめくり、地方公務員の労働組合と自治体トップが対立している。労組側は、協約を結ぶ権利を認める法案が国会提出された国家公務員と同じ扱いを主張。首長側は「地域ごとに実情が違う」と反発している。（朝日10/10）

「最年少3市長、魅力や課題語る」

千葉市の政令指定都市移行20周年を記念するシンポジウムが10月13日、市内中央区で開かれた。政令市最年少市長の熊谷俊人千葉市長(34)と全国最年少市長の鈴木直道夕張市長(31)、全国最年少女性市長の越直美大津市長(37)が、まちづくりや将来の日本のあるべき姿について意見を交わした。(千葉日報10/14)

「政令市20周年祝う」

千葉市の政令指定都市移行20周年記念を兼ねた「市民の日記念式典」が10月18日、中央区の京葉銀行プラザで開催された。(千葉日報10/19)

「地域主権と福祉 誰のための分権か」

誰のための地域主権改革なのか。病院や施設の経営者のためか、高齢者や障害者のためか、そこが問われている。地方分権を進めながらも福祉の質をどのように確保していくのかは先進諸国が直面している問題でもある。(毎日社説10/30)

「自治体の非正規、3割超 財政規模小さな町村に集中」

「全国で70万人・4年で2割増」

自治体で働く職員の3分の1を非正規が占めることが労働組合「自治労」の調査でわかった。1割の自治体では半数を超えた。組合側は「財政規模の小さな自治体を中心に、低賃金労働が広がっている」と指摘している。(朝日10/30)

「給与削減拒む自治体 地方公務員 議会も案否決」

財務省は1日、地方公務員の平均給与が国家公務員を上回っているという調査結果を発表した。これを受け同省は、地方自治体に給与引下げを求めていく方針だ。ただ、地方は「国に押し付けられるものではない」として反発しており、多くの自治体では、給与の引下げが進んでいない。(朝日11/2)

「交付税遅延 24道府県、予定外の借金」

赤字国債発行に必要な特例公債法案の成立が遅

れ、国から自治体への地方交付税交付金の支払いが滞っている問題で、24道府県が9月以降、資金繰りのため金融機関から予定外の借入れを行なったことが読売新聞のまとめでわかった。(読売11/4)

<県議会代表質問 答弁要旨>

「県の来年度予算 財源不足430億円」

12月千葉県議会において自民党の白井正一議員は、任期満了に伴う知事選があるため骨格編成となる千葉県の来年度当初予算の収支見通しについて質問した。

「自転車道整備 221キロ開通」

当センター理事の天野行雄議員(民主党)は、自転車を活用した「サイクルツーリズム」の推進に向け、自転車道の整備状況について尋ねた。(千葉日報11/28)

<県議会代表質問及び一般質問 答弁要旨>

「県内の『福祉避難所』震災後2倍340ヵ所に」

公明党の藤井弘之議員は、東日本大震災を受け、一般の避難生活が困難な高齢者や障害者らを受け入れる「福祉避難所」の現状について質問した。

「自殺後のアンケート廃棄は『極めて遺憾』」

丸山慎一議員(共産党)は、2008年9月に自殺した当時中学2年生の男子生徒の父親が、いじめが原因として市に再調査を求めた問題を取り上げた。

「改革で県の外郭団体 10年前より19団体減」

花崎広毅議員(開拓)は、行政改革に関して公社など県の外郭団体の状況について尋ねた。

「液状化被害住宅再建 申請率依然伸び悩む」

村上純文議員(自民党)は、液状化被害住宅の再建支援事業の申請状況を聞いた。(千葉日報11/29)

<県議会一般質問 答弁要旨>

「富津室内プール 来年度に再開へ」

自民党の吉本充議員は、改修工事が進む富津公園水泳場の屋内温水プールの再開時期を聞いた。

「美浜区中心に液状化調査」

河野俊紀議員（民主党）は東日本大震災後、千葉県が実施した液状化ボーリング調査について尋ねた。

「救急救命センター 赤字最大で5億円」

石橋清孝議員（自民党）は、県内の自治体病院が運営する救急救命センターの赤字状況について尋ねた。

「九十九里浜の侵食 総延長の半分で進む」

プリティ長嶋議員（千葉維新の会・県民の声）は、九十九里浜の海岸侵食を取り上げた。

「新たな人口推計 当面は実施せず」

内田悦嗣議員（自民党）は、東日本大震災の影響で減少に転じた県内人口について、新たな人口推計を実施するか質した。（千葉日報11/30）

<県議会一般質問 答弁要旨>

「国の最終処分場設置 14年度末は変わらず」

自民党の滝田敏幸議員は、指定廃棄物の最終処分場について、県内候補地の国の提示が遅れている現状について質した。

「無灯火自転車で 県警、11件を検挙」

赤間正明議員（公明党）は、重大な交通事故にもつながる無灯火自転車の取締りについて聞いた。

「県内観光事業者に東電119億円を賠償」

江野沢吉克議員（自民党）は、福島第一原発事故を受けた千葉県内観光事業者への損顔賠償について尋ねた。

「いじめ被害児童 進学時の配慮必要」

佐藤浩議員（千葉維新の会・県民の声）は、いじめ問題について、被害児童と加害児童が同じ中学校に進学しないよう配慮が必要と指摘。

「東葉高速通学定期 割引率拡大検討へ」

服部友則議員（自民党）は、東葉高速鉄道の通学定期の割引率について拡大の可能性を質問した。（千葉日報12/1）

「本部制廃止を提案へ 松戸市、11部に機構改革」

松戸市は、行政サービスの向上と効率化を図るため全面的な機構改革を行なう方針を固めた。（千葉日報12/3）

<県議会一般質問 答弁要旨>

「県内の乳児院77%」

入江晶子議員（市民ネット・社民党・無所属の会）は、千葉県内の乳児院と児童養護施設の状況について尋ねた。

「未利用県有地 売却可能14%」

秋山光章議員（自民党）は、未利用県有地の現状について質問した。

「いじめの情報開示『丁寧に対応を』」

関政幸議員（自民党）は、重大ないじめ事案のアンケート調査について、被害児童生徒の保護者から結果の開示を求められた場合の対応を尋ねた。

「道の駅防災拠点化 具体的な検討推進」

中田学議員（民主党）は、千葉県内に23カ所ある「道の駅」の防災拠点化について県の姿勢を質した。

「災害時の入浴施設 県と自衛隊が保有」

坂下茂樹議員（自民党）は、災害時の避難所での入浴施設について聞いた。（千葉日報12/4）

<次号へ>